

学校 番号	34	学校名	蓼科 高等学校
----------	----	-----	---------

令和5年度学校評議員活用状況報告書

第3回学校評議員会 【令和6年2月22日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・実施時間 14時55分～16時15分
- 1 授業参観・校舎内見学
- 2 校長挨拶
- 3 学校の活動状況について説明
 - (1) 生徒指導、(2) 進路指導、(3) 学校自己評価、(4) 匿名性を担保した学校評価・授業評価、(5) 生徒募集活動状況、(6) 学校説明会アンケート、(7) その他
- 4 質疑応答、意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・本校の実態がわかるように、13時30分から15時までのすべての授業を公開、参観を可能にしたこと。
- ・事前に資料を送付し、評議員から質疑や要望を出しやすくする手立てをとったこと。
- ・質疑応答や意見交換の時間を確保するため、学校からの説明は必要最小限にとどめたこと。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・部活動の現状について。
第2回の学校評議員会で評議された地元中学校との連携の状態、また地元中学校に存在する部活動との接続について。また高校生活における部活動の意義と生徒募集に与える影響について。
- ・匿名性を担保した学校評価、授業評価や各種のアンケートから、学校がきめ細かく個別の支援、指導を継続している点について評価できる点について。
- ・保小中高と地域の連携について。
- ・外部への情報発信の取り組みについて。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・保小中高の連携、また地域との連携について、横断的な地域連携を可能にする人材がいればより一層工夫できると指摘された。とりわけ総合的な学習の時間や探究的な学習の時間を活用した連携、また祭礼や商工祭等の地域行事への参加がより可能になることが共有された。
- ・生徒の状況や部活動の活性化と職員のメンタルヘルスの関係について、評議員からも心配と期待が寄せられた。
- ・評議、意見交換の時間が予定を超過するなど、議論が活発であった。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。
なお、報告書のみメール添付にて担当までご提出ください（会議用資料等は不要です）。